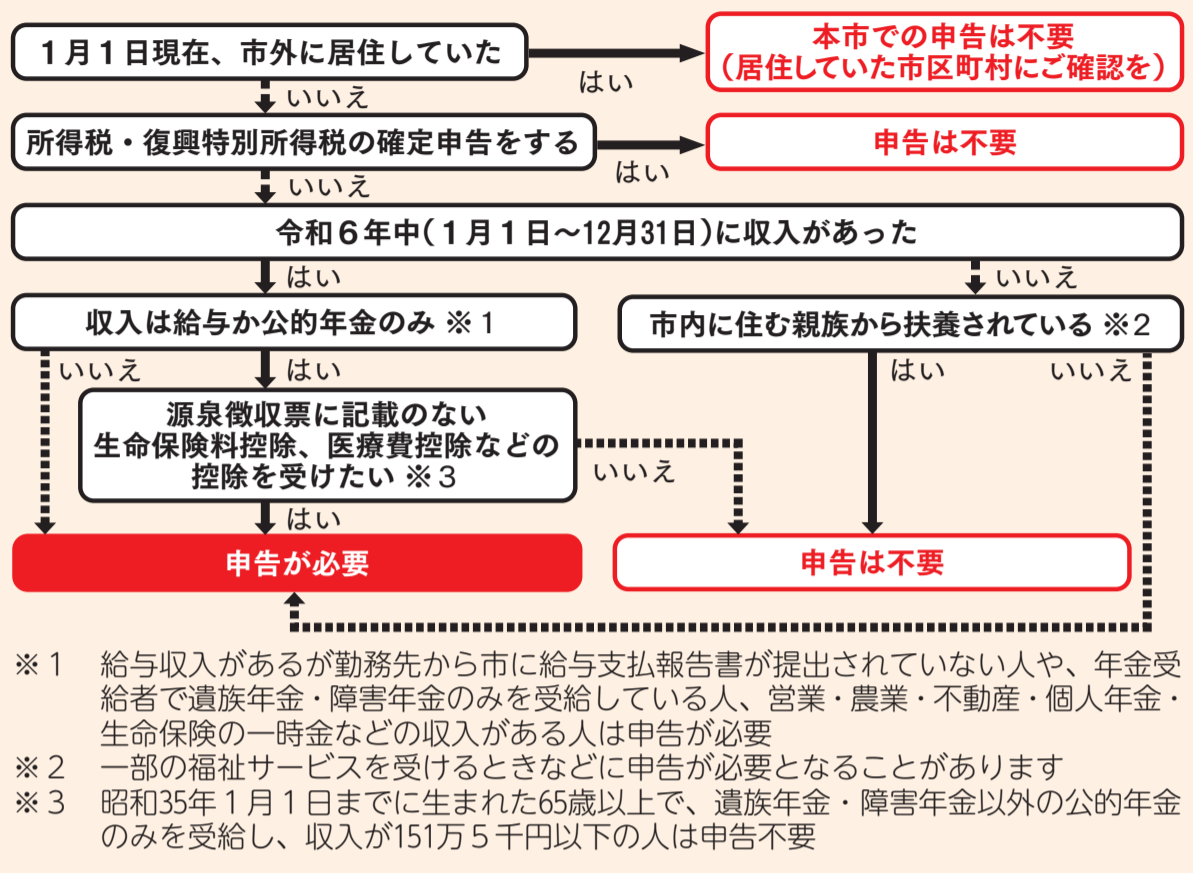


令和7年度の市民税・県民税の申告受け付け 2月17日(月)～3月17日(月)

申告が必要と思われる人へ今月上旬に申告書を発送します。申告が必要な人で申告書が届かないときは、申告相談会場などでお受け取りください。

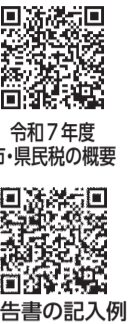
【市民税課☎216-1174・1175FAX216-1177】

まずは申告が必要か確認を



市・県民税の概要など

税額の計算方法などの概要と、収入状況に応じた申告書の記入例などを市HPに掲載しています。



郵送で申告するとき

申告書に必要な事項(住所・氏名・電話番号など)を記入し、必要書類(写し可)を同封の上、〒892-8677山下町11-1市民税課へ郵送してください。

申告に必要なもの

申告書、下表の各必要書類
 ※申告者の本人確認のため、①個人番号確認書類(マイナンバーカードなど)と②本人確認書類(運転免許証など)の提示が必要
 ※代理申告のときは、申告者本人の①と代理人の②の提示が必要

対象者	必要書類(2024年中の収入や支払いが分かる書類) ※写し可
給与収入、公的年金等の収入がある人	源泉徴収票、給与明細書、事業主の支払証明書など
事業収入やその他の収入がある人	収入金額や必要経費が分かる書類(固定資産税納税通知書と課税明細書、帳簿類など)
医療費控除を受ける人かセルフメディケーション税制による医療費控除の特例を受ける人	医療費控除の明細書かセルフメディケーション税制の明細書(詳しくは申告書に同封する「明細書の記載要領」をご覧ください) ※2024年中に支払ったものが対象
社会保険料控除を受ける人 ※国民健康保険税、後期高齢者医療保険料などの支払いがある人	申告者本人が口座振替や納付書で保険料を支払ったときは、領収書など支払いが分かるもの ※公的年金からの支払い分は、年金の源泉徴収票に記載されているため提出不要 ※国民年金保険料、国民年金基金の支払いがある人は、控除証明書が領収書
小規模企業共済等掛金控除を受ける人	掛金の証明書
生命保険料控除、地震保険料控除を受ける人	支払保険料の証明書(控除証明書)
寄附金税額控除を受ける人	寄附先団体から交付された寄附金受領証明書など
障害者控除を受ける人	身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳・障害者控除対象者認定書など
勤労学生控除を受ける人	学生証・在学証明書など

本庁・各支所の申告相談会場と受付日時

申告相談会場

会場	問い合わせ	会場	問い合わせ
本庁本館2階講堂	市民税課☎216-1174・1175	桜島支所税務課窓口	桜島税務課☎293-2348
谷山支所4階大会議室	谷山税務課☎269-8421	東桜島税務係窓口	東桜島税務係☎221-2112
伊敷支所3階大会議室	伊敷税務課☎229-9736	喜入支所2階第1会議室	喜入税務課☎345-3759
吉野支所2階会議室	吉野税務課☎244-7392	松元支所1階税務課前会議室	松元税務課☎278-5416
吉田支所税務課窓口	吉田税務課☎294-1213	郡山支所3階会議室	郡山税務課☎298-2115

受付日時

2月17日(月)～3月17日(月)の9～17時
 ※土・日曜日、祝日を除く



早めの申告や郵送での申告など、混雑緩和にご協力をお願いします



市民税課 船迫 主事

市長からのメッセージ

わくわくする♪冬のマグマシティ鹿児島市

暦の上では春が訪れる2月を迎えましたが、もうしばらくは寒い日が続きそうです。

市では今年も「あなたとわくわくマグマシティ」を合言葉に、生産者や飲食店などの皆さんと一緒に、桜島のエネルギーを連想させる「マグマシティ」をイメージした人もまちもわくわくする催しで、冬の鹿児島を“熱く”盛り上げます。まずは、市電と県産サツマイモを組み合わせた「マグマやきいも電車」です。電飾で光る市電に揺られ、数種類のホクホクの焼き芋を食べ比べながら夜の街を巡るというユニークな企画で、毎回、市内外から大きな注目を集めています。

事業者の皆さんからも、市電と鹿児島の食を組み合わせた様々なアイデアが寄せられ、その中から、さつまあげや黒酢、焼酎などを楽しめる電車の運行も行います。

また今回も、市電沿線の飲食店やコンビニエンスストアの

皆さんなどが、桜島やマグマをテーマに、県産食材を用いたそれぞれのオリジナルメニューを販売されます。鹿児島満載の今年の味を私も楽しみにしています。

新鮮で多彩な食の恵み。路面電車が走る、人にも環境にもやさしい都市空間。まちを盛り上げたいという想いを寄せてくださる方々の情熱。「マグマシティ」を掲げたこの冬の催しには、鹿児島市の魅力がギュッと詰まっています。様々な本市の宝を、より多くの市民や事業者の皆さんと共有し、磨き上げながら、オンリーワンの魅力として国内外にさらに発信していきたいと考えています。



鹿児島市長 下鶴 隆央